

平成28年省エネルギー基準対応 JIS Q 17050-1に基づく自己適合宣言書（附属書）

自己適合宣言書文書番号		ST73002	附属書番号	ABN0641A0
発行者の名称		三協立山株式会社 三協アルミ社		
作成日		2025年10月20日	改訂日	
商品	防火窓エスティナ-H・防火窓エスティナ-EH			
仕様	複層ガラス			
窓種	全般			

■本附属書は自己適合宣言書と合わせてお使いください。

＜開口部の熱貫流率＞

- 国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報（住宅）」の「第三章 暖冷房負荷と外皮性能 第三節 熱貫流率及び線熱貫流率 付録B B.1 大部分が透明材料で構成されている開口部（窓等）」に基づく値です。
- 本附属書は住宅用窓の簡易の評価方法による数値だけを掲載しております。試験値や計算値を用いる場合は各窓種毎の附属書をご覧ください。

＜開口部の日射熱取得率＞

- 国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報（住宅）」の「第三章 暖冷房負荷と外皮性能 第四節 日射熱取得率 付録C 大部分が透明材料で構成される開口部（窓等）の垂直面日射熱取得率－ガラスの日射熱取得率等を用いる場合－」に基づく値です。

・窓種やサイズにより使用できるガラス厚や仕様が異なります。詳しくは商品カタログのガラス対応一覧表をご参照ください。

・ガラス中央部の熱貫流率はガラスメーカーへお問い合わせください。

開口部の熱貫流率

枠の種類	ガラスの仕様	ガラス中央部 熱貫流率 Ug[W/(㎡・K)]	ガラスの仕様例			開口部の熱貫流率 UW[W/(㎡・K)]				簡易的評価
			構成	中空層	スペーサー	遮蔽物なし	シャッター・ 雨戸付	和障子付	風除室あり	
樹脂と金属の 複合材料製建具	複層ガラス	0.86以下	Low-E3+G10+FL3+G10+Low-E3	アルゴンガス	アルミ	1.64	1.53	1.46	1.41	○
		1.0以下	Low-E4+G9+FL4+G9+Low-E4	アルゴンガス	アルミ	1.75	1.62	1.55	1.49	○
		1.1以下	網入6.8+G16+Low-E3	アルゴンガス	アルミ	2.03	1.86	1.76	1.69	○
			FL3+G16+Low-E3	アルゴンガス	アルミ					
		1.2以下	網入6.8+G16+Low-E3	アルゴンガス	アルミ	2.11	1.93	1.82	1.75	○
			FL3+G16+Low-E3	アルゴンガス	アルミ					
		1.4以下	網入6.8+A16+Low-E3	乾燥空気	アルミ	2.27	2.07	1.95	1.86	○
			網入6.8+A15+Low-E5	乾燥空気	アルミ					
			FL3+A16+Low-E3	乾燥空気	アルミ					
			F4+A15+Low-E3	乾燥空気	アルミ					
		1.7以下	網入6.8+A16+Low-E3	乾燥空気	アルミ	2.51	2.26	2.12	2.01	○
			FL3+A16+Low-E3	乾燥空気	アルミ					
		2.8以下	FL3+A16+FL3	乾燥空気	アルミ	3.39	2.97	2.75	2.54	○

開口部の日射熱取得率

枠の種類	ガラスの仕様		日射熱取得率 ηd		
			付属部材 なし	和障子	外付け ブラインド
樹脂と金属の 複合材料製建具	2枚以上のガラス表面にLow-E膜を使用したLow-E三層複層ガラス	日射取得型 ^{※1}	0.43	0.27	0.10
		日射遮蔽型 ^{※2}	0.26	0.18	0.06
	Low-E三層複層ガラス	日射取得型 ^{※1}	0.47	0.30	0.11
		日射遮蔽型 ^{※2}	0.30	0.20	0.08
	三層複層ガラス		0.58	0.30	0.14
	Low-E二層複層ガラス	日射取得型 ^{※1}	0.51	0.30	0.12
		日射遮蔽型 ^{※2}	0.32	0.21	0.09
	二層複層ガラス		0.63	0.30	0.14

※1 「日射取得型」とは、JIS R3106に定めるガラス中央部の日射熱取得率が0.50以上のものをいいます。
※2 「日射遮蔽型」とは、JIS R3106に定めるガラス中央部の日射熱取得率が0.49以下のものをいいます。